

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院 中央放射線部の
放射線治療において前立腺癌の小線源治療を受けられた患者さまへ

和歌山県立医科大学附属病院中央放射線部では、以下の臨床研究を実施しています。ここでご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。

また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

前立腺癌における外部照射併用密封小線源治療での尿道下腔内照射の可能性（後ろ向き観察研究）

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学附属病院 中央放射線部 主任 宮崎 雄司

3. 研究の目的

前立腺の小線源治療は必ず股の間からアプリータと呼ばれる針を刺す必要があります。侵襲性の高い治療法です。もし仮に、尿道の中から治療ができれば、非侵襲的な治療が可能になると考え、治療計画装置を使って可能性を検討します。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

前立腺癌と診断され、2018年1月4日から2021年3月31日までの間に当院において、小線源治療を受けられた患者さまが対象です。

(2) 利用させて頂く情報

項目は、年齢、スペース OAR 使用の有無、穿刺した針の数、前立腺の体積と長さ、線量、膀胱の体積、直腸の線量、尿道の線量です。これらの情報を放射線治療情報システムと放射線治療計画装置からデータを抽出させていただきます。

(3) 方法

「(2) 利用させて頂く情報」の項目を基にデータ解析を行います。

この治療法が可能となれば、これまでとは全く違う非侵襲的な治療の可能性が広がります。

5. 個人情報の取扱い

患者さんを特定できる個人情報は利用しません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表させていただきますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先 (研究の担当者)

和歌山県立医科大学附属病院 中央放射線部 宮崎 雄司 (みやざき ゆうじ)

和歌山県和歌山市紀三井寺 811-1

TEL : 073-447-2300 (内線 2240) FAX : 073-441-0512 E-mail : ym@wakayama-med.ac.jp